

第1次磐田市総合計画

後期基本計画（概要版）

平成24年度から平成28年度まで

全体のバランスのとれた
総合カナンバーワンのまちを
目指します。



後期基本計画の策定にあたって

～「総合力ナンバーワンのまち」を 目指して～



本市は、平成17年の合併を契機に、平成19年3月に策定した磐田市総合計画前期基本計画が平成23年度をもって計画期間の終了を迎えたことから、平成24年度から平成28年度までの新たなまちづくりの展開に向けて、基本的な施策や事業をまとめた「後期基本計画」を策定しました。

アメリカのリーマンショックを発端とした経済の停滞やユーロ圏経済の低迷など、前期基本計画策定からの5年間に世界の社会経済情勢は大きく変動し、国内においても、昨年3月11日の東日本大震災を受け、安全・安心に向けたまちづくりへの取組みが強く求められるなど大きな転換期を迎えています。

今、時代が大きく変貌を遂げるなかで、本市においても、全国の自治体同様、引き続き厳しい財政状況の中、急速に進む少子高齢化や環境問題、経済状況の低迷などへの対応を迫られています。加えて、今後は、国の合併支援策のひとつである普通交付税の合併特例措置が平成28年度から段階的に縮小され、平成32年度を最後に満了となり、多大な影響を及ぼすことが想定されます。

このような状況下での今回の計画策定にあたっては、行財政改革の推進はもとより、目まぐるしく変動する社会経済情勢や市民ニーズの変化に的確に対応し、財政見通しにしっかりと基づいた実現性・実行性のある計画とし、安全・安心に関わるものや市民生活に直結する「今やるべき」もの、人材育成や教育などの将来の基礎となるものには、積極果敢に取り組んでいくこととしております。

また、この計画の推進にあたっては、市民・事業者・行政が一体となった「オール磐田」による取組みを進め、産業、歴史、文化、スポーツなど、他には負けない磐田の強みを最大限に活用して、日本一バランスの取れた「総合力ナンバーワンのまち」を目指していきたいと思っております。

最後に、計画の策定にあたり、熱心なご議論をいただいた磐田市総合計画審議会の委員の皆様をはじめ、多くの貴重なご意見・ご提言をお寄せいただいた市民の皆様に対し、心から感謝申し上げますとともに、今後とも本市の発展のため、ご支援とご協力をお願いいたします。

平成24年3月

磐田市長 渡部 修

1 後期基本計画とは

(1) 計画策定の趣旨

「総合計画後期基本計画」は、将来の磐田市を考え、今後5年間で、市が、何を目指し、何を行うのかをまとめたものです。

この計画は、市民とともに考えた磐田市の最も基本となる「まちづくりの考え方」を示しています。

(2) 総合計画の構成と期間

総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画により構成されます。
後期基本計画は、平成24年度から平成28年度までの5年間の計画です。

	前 期					後 期				
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
基本構想	基本構想(10年)									
基本計画	前期計画(5年)					後期計画(5年)				
実施計画						実施計画				
						実施計画				
								実施計画		

(3) 総合計画の策定の視点

前期基本計画の成果を踏まえつつ、今後5年間のまちづくりの方向を明らかにする計画として、次の視点を基本に後期基本計画を策定します。

- ① 時代要請にかなった、新たな計画づくり
- ② 目標が明確で成果が評価できる計画づくり
- ③ 実現性を重視した計画づくり
- ④ 市民と市の役割分担を明確にし、協働して取り組む計画づくり
- ⑤ 磐田らしさを生かした計画づくり

2 後期基本計画で取り組む重点事業

磐田市の将来像である「自然あふれ、歴史・文化薫るゆとりと活力のまち」を目指して、市民の皆さんや事業者、行政の協働で、7つの柱に沿って取組みを進めます。



2 住んで良かったと思えるまちづくり

市民生活の舞台となる安全・安心・快適な住空間や道路・公園など都市基盤の整備、誇りと愛着が持てる美しい街並みづくり、にぎわいのある中心市街地の整備、公共交通機関の利用促進、情報伝達網の充実などにより、住んで良かったと思えるまちづくりを目指します。

基本施策

- ① 計画的な土地利用の推進
- ② 市街地整備の推進
- ③ 道路網の整備
- ④ 緑豊かなまちづくり
- ⑤ 住生活の向上
- ⑥ 美しい街並みづくり
- ⑦ 公共交通機関の利用促進
- ⑧ 地域情報化の推進



5年間に力を入れて
取り組むこと

- 磐田駅北口広場を整備します
- 土地区画整理事業を進めます
(新貝・鎌田第一・豊岡駅前土地区画整理事業)
- JR新駅の設置を進めます
- 橋梁の耐震化・長寿命化を進めます
- 自主運行バスの見直しを進めます
- 光ファイバ網の拡大を進めます

1 環境にやさしいまちづくり

限られた資源を大切に、環境にやさしい循環型社会を構築していくため、自然環境の保全、省資源・省エネルギー対策の強化、資源のリサイクルシステムの確立、新エネルギーの活用促進とともに、環境にやさしい持続可能なまちづくりを目指します。



基本施策

- ① 環境保全の推進
- ② 省資源・エネルギー対策の充実
- ③ 環境教育の推進
- ④ 生活環境の向上
- ⑤ 循環型社会の推進
- ⑥ 上下水道の整備

5年間に力を入れて
取り組むこと

- メガソーラーの誘致について検討します
- 省エネルギーを啓発・推進します
- 老朽化した水道管路の更新と耐震化を進めます
- 下水道処理施設、下水道管路施設の耐震化を進めます

3 豊かな心を育み活躍できるまちづくり

「まちづくりは人づくりから」を基本に、次代を担う心身ともに健やかで創造力豊かな子どもを育むとともに、多様な学習機会の提供、歴史遺産・文化の継承、文化・スポーツの振興、国際交流、男女共同参画や地域社会に貢献する人材の育成などにより、豊かな心を育み市民みんなが活躍できるまちづくりを目指します。



基本施策

- ① 子どもの教育の充実
- ② 健全な青少年育成
- ③ 学習機会の充実
- ④ 文化の振興と歴史遺産の整備、活用
- ⑤ スポーツの振興
- ⑥ 多文化共生と国際交流の推進
- ⑦ 男女共同参画の推進

5年間に力を入れて
取り組むこと

- 小中一貫教育を研究・推進します
- 豊岡東幼・豊岡北幼、豊岡東小・豊岡北小の統合を進めます
- 幼稚園・保育園の再編計画の策定を進めます
- 学習交流センターを開設・運営します
- 豊岡総合センターの整備プランについて検討します
- 市民文化会館などの整備プランについて検討します
- 磐田の歴史や文化を活用し郷土への理解を深めます
- スポーツ・芸術文化活動を通じた子どもの育成を支援します

4 安全・安心なまちづくり

誰もが安全で安心して暮らせるように、建築物等の耐震化の促進、地域の防災・防犯体制の強化、交通安全対策や治山治水対策、消防・救急体制の充実などにより、市民の生命と財産を守り、災害に強い安全・安心なまちづくりを目指します。

基本 施策

- ① 地域防災対策・体制の強化
- ② 地域防犯体制の強化
- ③ 交通安全対策の充実
- ④ 消防・救急体制の充実
- ⑤ 治山・治水対策の充実
- ⑥ 消費生活対策の充実



5年間に力を入れて
取り組むこと

原子力災害対策も含め、地域防災計画の見直しを進めます
災害に強い地域づくりを進めます
(仮称)防災センターを整備します
津波対策を進めます
公共施設・民間建築物の耐震化を進めます
福田地区の幼稚園・保育園の再配置や改築を進めます
久保川治水プロジェクト事業(総合内水緊急対策事業)を進めます

5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり

誰もがその人らしく安心して生活が送れるように、多様化した生活様式や市民ニーズに対応した子育て支援、福祉サービス、健康づくりや医療体制の充実を図るとともに、市民と行政が協働し、やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくりを目指します。



5年間に力を入れて
取り組むこと

基本 施策

- ① 地域福祉システムの充実
- ② 子育て環境の整備
- ③ 高齢者福祉の推進
- ④ 障害者福祉の推進
- ⑤ 健康づくりの推進
- ⑥ 地域医療体制の充実

地区社会福祉協議会などの活動を支援します
こども医療費の助成対象を拡充します
竜洋幼稚園・竜洋西保育園の整備について検討します
高齢者の見守り・支援ネットワークづくりを進めます
障害のある子どもに対する福祉サービスを拡充します
災害拠点病院・初期被ばく医療機関としての機能整備を進めます
(仮称)磐田市急患センターを整備します

6 交流と活力のあるまちづくり

歴史遺産や文化・スポーツなどの多様な地域の魅力や資源を活用しながら、観光その他の交流を活性化するとともに、農林水産業や商業・サービス業、工業の振興、新産業の誘致・育成など、民間活力を活用しながら地域の経済を支える産業を活性化し、交流と活力のあるまちづくりを目指します。

基本 施策

- ① 農林水産業の振興
- ② 商業・サービス業の振興
- ③ 工業・新産業の育成、振興
- ④ 観光・交流の振興
- ⑤ 雇用環境の充実



5年間に力を入れて
取り組むこと

農業の担い手を育成します
福田漁港周辺に食の拠点づくりを検討します
6次産業化を支援します
にぎわいのあるまちづくりを支援します
下野部工業団地などの開発を進めます
スマートインターチェンジの設置を検討します
新たな分野に挑戦する企業を支援します
(次世代自動車・新エネルギー・スポーツ産業)
磐田市の魅力を活かし、市の知名度を向上させます
安定した雇用環境の創出を図ります

7 計画推進のために

この計画を着実かつ効率的・効果的に推進し、目標を達成するため、「市民」・「地域」・「行政」の3つの力を高め、住民自治の考え方を基本とした市民と行政の協働のもと、新たな都市発展・繁栄のモデルとなるまちづくりを目指します。



5年間に力を入れて
取り組むこと

基本 施策

- ① 市民の力を高める
- ② 地域の力を高める
- ③ 行政の力を高める

新たな人材バンク制度を構築します
まちづくりを担う若い人材を育成します
地区の活動拠点となる施設を整備します
(福田・竜洋・豊田・豊岡地区)
公共施設の見直しを進めます
内部事務システムの再構築を進めます
遊休地の売却を進めます
行財政改革を進めます